

第7回

稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会

資料

平成31年1月16日

その他基本計画作成に必要な事項について

[資料10]

(1) 4つの課題等に対応する施設

小中連携を推進する施設	明るく清潔な施設	個々の教育的ニーズに応えられる施設	コンパクトで機能的な施設
<ul style="list-style-type: none"> 職員室を共有化し、教職員が情報を共有できる施設 学年会議や各種委員会等、日常的な打合せを行いやすい施設 特別教室の共有化や異学年交流スペースを配置した施設 教員が同じ情報を共有できる校舎がよい 小学生と中学生の校舎内の接点は多すぎない方がよい 	<ul style="list-style-type: none"> 自然光を取り入れ、明るく開放感のある施設 内装に木材を使用し、落ち着いた優しい施設 明るく衛生的な洋式トイレの設置 自校給食方式により、食育を推進できる施設 	<ul style="list-style-type: none"> 通級指導教室設置校では適切な場所に通級指導教室を設置した施設 バリアフリー*1及びユニバーサルデザイン*2の考え方を取り入れた施設 相談室、多目的トイレ、更衣室等の設置 特別支援学級は年々増えているので、余裕のある計画をしてほしい 小学生と中学生を分けてほしい <p>*1：障がいのある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものの除去</p> <p>*2：障がいの有無、年齢、性別、人種等に関わらず多様な人々が利用しやすいようデザインする考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特別教室・管理諸室の共有化 小・中学校が相互に刺激し合える教室配置 誰にでも分かりやすい教室配置 屋内運動場はバスケットコート2面以上、運動場は200mトラックを配置できる施設 学校プールを設置する場合は小学校の水深を基本とした学校プールの設置 特別教室数は子どもたちや教員に負担のかからない時間割が組める数がほしい 小学グラウンドと中学グラウンドは分離配置がよい 小学校低学年には遊具広場などのスペースも必要 図工室と美術室は分けてほしい 技術室は機材の搬入等があるため1階に配置してほしい 保健室は外部から寄り付けて水場をそなえ、職員室と連絡を取りやすい場所に配置してほしい。中学生の相談対応も可能な配置にしてほしい

(2) 新たな教育課題に対応する施設

時代の変化に柔軟に対応できる施設	国際化社会・高度情報化社会に対応できる施設	主体的に学べる施設
<ul style="list-style-type: none"> 少人数指導に対応した教室の設置 多様な使い方に対応した多目的室の設置 可動間仕切り等により、間取りを柔軟に変更できる施設 将来の用途変更等も想定し、間取りの変更が可能（容易）な施設 学年配置は状況に合わせて変更できるようにしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語等を身近に学べる教室を配置した施設 無線LAN等により、施設内で自由に情報機器を使用できる施設 パソコン等の情報機器を身近に感じ、容易に使用できる施設 情報収集に必要なインターネット環境や図書室を関連させた施設 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学びの場として、利便性の高い図書室を配置した施設 ギャラリーやホール等主体的な活動をサポートできる施設 9年間の学校生活により人間関係を豊かに発展させ、主体的な学習意欲を喚起する施設 円滑に部活動が運営できる施設

(3) ふるさと嘉麻を心に育む施設

地域住民の集いの場となる施設	地元産材を活用し、キャリア教育の場となる施設
<ul style="list-style-type: none"> • ゲストティーチャー等と児童生徒が交流活動出来るスペースを備えた施設 • 地域住民が気軽に教育活動にふれられる施設 	<ul style="list-style-type: none"> • 嘉麻市産の木材を活用した施設

(4) 地域の資源として機能する施設

利用しやすく、誰にでも優しい施設	地域コミュニティの拠点となる施設
<ul style="list-style-type: none"> • 多目的トイレを各階に配置した施設 • 大きくわかりやすいサインを配置した施設 • 身体障がい者等用駐車場を配置した施設 	<ul style="list-style-type: none"> • 社会教育施設や社会体育施設との共有を想定した施設 • 地域住民の利用を想定したゆとりある駐車場と安全な車両動線の確保 • 体育館や運動場は学校開放に配慮し、出入り口の分離やクラブハウスの設置等使用区分が明確な施設 • 地域交流ゾーンと学校ゾーンを明確に区別してほしい

(5) 安全・安心を守る施設

安全な施設	維持管理しやすく、長期にわたり機能性を確保できる施設	環境にやさしい施設
<ul style="list-style-type: none"> • 死角の少ない校舎、施設配置 • 避難動線や非構造部材の耐震化に配慮した施設 • 職員室を中心に学校全体を把握できる施設 • 児童生徒と車両の動線を分離した施設 • 監視カメラ等により不審者の侵入を監視できる施設 • 災害の際に避難所としての機能を果たせる施設 • 避難所として使用する際の機能性（使用の長期化・衛生面等）に配慮した施設 • 安全で授業に集中できる教室内環境を確保するため、必要性に応じて空調機器を配置した施設 <ul style="list-style-type: none"> • 児童生徒の安全安心を最大限配慮してほしい • 学校内に部外者が入れないように配慮してほしい • 職員室から不審者対応がしやすい配置にしてほしい • 図書館については特に児童生徒のプライバシーに配慮してほしい • 昇降口は、中学生の自転車通学動線と小学生の歩行通学動線の分離等、児童生徒の安全を確保できる動線を検討してほしい • 児童生徒と来客者、車両の動線を明確に分離してほしい • 現状で送迎車両が学校近隣に停車して迷惑をかけている。送迎車両の対応も検討してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> • 簡素な施設配置とし、改修が容易な施設 • 防水や外壁材に長寿命な材料を採用した施設 • 機器、備品、仕上げ材等は特殊材ではなく一般的な材料を用い、修繕や機器更新を合理的に実施できる施設 	<ul style="list-style-type: none"> • 機器・備品類を、出来る限り再利用した施設 • 最新の機器を使用し省エネに配慮した施設 • 日照、採光、通風に配慮した施設 • エコスクール *3 の考え方を取り入れた施設 <p>*3：環境を考慮して整備された学校施設</p>

(6) その他協議会での意見

<ul style="list-style-type: none"> • 学校内のゾーニングについては、学校職員の意見を取り入れてほしい • 小学校低学年の近くに職員室と保健室を配置してほしい • 給食センター跡地も含めて計画を検討してほしい • 学童と学校の管理は明確に分離してほしい • 校舎西側をできるだけ広く取ってほしい • 生徒用ロッカーは中の荷物が把握できるように、扉を透明な硬化ガラスやプラスチックにほしい
--